

民主

PRESS MINSHU

2006年11月(1)

号外

定価200円(消費税込み)
年間購読料3000円(送料含む)

民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

神奈川県第5区総支部版
代表 田中慶秋

徹底討論「小泉改革の失政」

景気の厳さを指摘

10月24日、田中慶秋前衆議院議員の出版記念パーティーが開かれた。パーティーに先立ち、多彩なパネラーによる「日本再生への道」と題しての徹底討論が行われた。

小泉改革後、景気は“イザナギ景気”を越えたと言われる。しかし、政府が言うように景気は本当に回復したのだろうか。パネラーからは「未だ景気は回復せず」との、厳しい意見が寄せられた。

格差社会が加速 「財政再建なくして景気回復なし」と謳った小泉さんだが、5年半の間に国の借金は膨らみ続け、反対に国民所得は減ってしまった。国際競争力をつけなければと、経済のグローバル化で競争原理を煽った挙げ句に、勝ち組・負け組の格差社会を生んでしまったのだ。

家計の可処分所得が減っても、デフレ下だから仕方ないと、我慢を強いた政治を小泉さんは行ってきた。その結果、人件費は下がり大手企業だけが儲かった。財務省の法人企業統計によるとサラリーマンの所得指数は小泉さんが首相になった2001年を100とした場合、2005年は89で11ポイントも下がっている。一方、経営者は170になった。もっとも利益を得たのが株主で280になった。これが小泉改革の正体であり格差社会を生んでしまった背景だ。

弱者を直撃 そのうえ、年金の給付減、負担増でこの5年半で家庭の財布から約9兆円が引き抜かれた。最も被害を被ったのはお年寄りの年金生活者とサラリーマン家庭だ。税制で良い目をみたのは高所得者と株主などの資産所得者と大企業だ。庶民が潤わず消費が回復しないのに、景気がよくなったとは言えない。勝ち組、負け組の二極化は進んでいく。消費が増えていると言うのは、実は高額商品と、それを買い求める、ごく限られた一部の富裕層によるものだけだ。

小泉改革の大間違い 小泉さんは何もかも公共事業が悪いと5年半で予算を10兆円以上減らしてしまった。この間、510兆円あった国民所得は504兆円と6兆円も減ってしまった。国を収縮させる政治を行ってきた。これは人災だ。改革と称して規制を取っ払い、大企業と外資が参入しやすい仕組みをつくった。このために資金力のあるものがより一層力をつけ、下請け・孫請けには儲からない価格で仕事を発注している。下請けは安く使え、それが難しいなら中国やベトナムに回す。

本来、中小零細企業のオヤジのポケットに入るものを自分たちのポケットに入れて、正社員をリストラし、従業員をパートやアルバイトにしてしまった。以前は、こんなことをしたら社会的バッシングを受けてしまう。それが、今は平然と行われている。これが小泉改革の成果なのか。大企業は潤っても中小零細企業の多くは苦しいままだ。会社の儲けは従業員に回らず、役員と株主だけが儲けている。竹中大臣は「いったい何処の国の、誰のための大臣だったのか」との疑問が向けられた。



鳩山 由紀夫
(民主党幹事長)



亀井 静香
(国民新党代表代行)



高木 剛
(連合会長)



ミッキー安川
(コーディネーター)



田中慶秋
(前衆議院議員)

敬称略

「いじめ・暴行」が3年連続増加

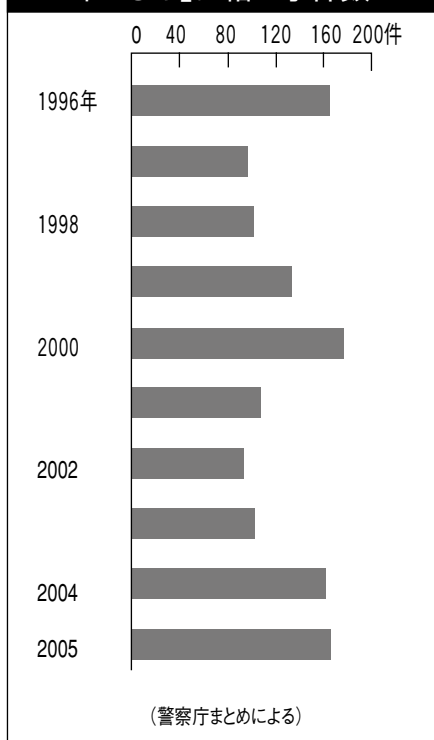
深刻な社会問題化。急げ、撲滅につながる実態の把握を！

子どもの「いじめ」が多発し、社会問題化している。警察が摘発、補導した「いじめ」に絡む小中高校生の暴行事件は3年連続増加を続けていることがわかった。過去10年でみると、昨年は2番目に多い165件(前年比4件増)となっている。(警察庁まとめ)

摘発、補導にまではいたらないものの、「いじめ・暴行」の発生件数は全国で約2万件にも達していることが文部科学省の調査でわかった。また、神奈川県内だけでみると2019件、暴力行為では過去最多の6088件(神奈川新聞)で最悪となっている。

実は1999年以降、「いじめ」に関する自殺は、ゼロと公表されている。これは統計をとる際の動機づけが「学友との不和」となっており、はっきりとした「いじめ」を断定する項目がなかったからだ。つまり「いじめ」の実態を正確に把握することができなかった。それが、来年1月の調査から、「いじめ」の項目が新設されることとなった。このことで「いじめ」の実態を、より正確に把握することができ、防止に向けて適切な対応がとれるようになると期待されている。

「いじめ」に絡む事件数



県会議員



川崎市 北井 宏昭
事務所電話 871-5454



瀬谷区 平本 さとし
事務所電話 304-1500



泉区 水戸 まさし
事務所電話 814-3001



前・衆院議員 田中 慶秋
事務所電話 871-7600

市会議員



川崎市 内田 しげお
事務所電話 821-4965



川崎市 星野 くにかず
事務所電話 881-0434



川崎市 川辺 よし男
事務所電話 851-0094



泉区 松本 さとし
事務所電話 801-2203



泉区 中島 けんじ
事務所電話 801-8739



瀬谷区 花上 きよみ
事務所電話 363-9749

地域を変え
日本を変える原動力
民主党神奈川県第5区総支部
所属議員力を合わせ
地域のため国民のために
一生懸命頑張ります。